



33 創立 1984.7.10 / 認証 1984.8.6 国際ロータリー第2660地区 大阪鶴見ロータリークラブ会報

事務所：〒534-0026 大阪市都島区網島町9番10号 大閘園内
電話：06-6357-8171 ファックス：06-6357-8011
例会日：毎週火曜日 12時30分 / 例会場：大閘園
会長：山崎修一 / 幹事：津野友邦 / SAA：木村和雄
電子メール：rcosatrm@cf.mbn.or.jp
ホームページ：http://rc-osaka-tsurumi.jp/



人類に奉仕する
ロータリー

本日の例会

〈第1531回〉 2016年10月25日(火) 本年度第12回

卓話

フリートーキング

■ロータリーソング
われらがロータリー

■ランチタイムミュージック

次回の例会

11月8日(火)

次回卓話

ロータリー財団100周年に因んで

担当：田中ロータリー財団委員長

前回の報告

会長インフォメーション <PRESIDENT INFORMATION>

会長：山崎修一

IoT (Internet of Things) と人間

前回は、インダストリー4.0についてお話をしました。その目的は主に、カスタマイズ対応、短納期対応、製造コストの極小化の三つでした。また、その目的を実現するための手段として、IoT(Internet of Things)、IoP (Internet of People)、IoS (Internet of Service) がありました。

そこで、今回は、
大変化のキーワード2 IoT (Internet of Things) についてお話をしてみましょう。

前回申し上げましたように、インダストリー4.0では、IoTは、生産手段であるすべての工場、機械設備、物流施設などがインターネットでつながる状況を想定していました。しかし、IoTは生産手段だけでなく、特にカスタマイズという目的から私たちの生活にすでに深く入り込んできています。

たとえば、ファックス機のトナーなどは、分量が少なくなると何の発注もしなくても勝手に新品を送ってきます。また、靴の中にセンサーが仕込まれて、徘徊老人がどこにいるのかを素早く把握する新商品が開発

されたことが最近の新聞記事に掲載されていました。また、クーラーや冷蔵庫などの家電の分野においては個人やその家庭の状況に応じた対応ができるように開発が進められています。今後、家電や自動車関連は言うに及ばず、農業、金融、教育など多くの分野でカスタマイズ対応を目指したIoTが深化していくと思われれます。

IoTのプロセスは一般に、データを収集するところから始まります。そして、収集したデータが蓄積されます。さらに蓄積されたデータが分析され、それがさまざまな付加価値として、再びモノに織り込まれていきます。

そこで活用される最新技術が、データ収集ではセンサー、蓄積ではクラウド、分析では人工知能(AI)です。これらのレベルが近年急速にアップしたからこそ、高度なIoTが可能になったとも言えます。

しかし、IoTが高度になればなるほど、実は「人間」が何をなすべきかが重要になってきます。IoTは導入期こそ差別化につながりますが、ライフサイクルの成熟期、すなわち誰もが使えるようになれば、優位性は消えていくからです。

その時、まさに「ハイテクを駆使したハイタッチ(ローテク)勝負」の時期がやってきます。ハイテクにできない独自の領域こそ付加価値創出の要(かなめ)です。

経済と地域社会の発展月間/米山月間

大阪鶴見ロータリークラブテーマ「変化対応 実験年度」

- 10月11日(火) 松本進也ガバナー公式訪問
- 16日(月) 米山奨学生レクリエーション
宝塚歌劇観賞
- 18日(火) 休会
- 19日(水) 大輪ゴルフ会
当クラブより4名エントリー
- 25日(火) 留学生による日本語作文コンクール表彰式
- 29日(土) さつまいもプロジェクト いも掘り体験

鶴見区民祭での当クラブの取り組みがRI2660地区のホームページで取り上げられました。現在、下記URLにて当日の活動の様子が紹介されています。会員の皆様におかれましては、是非、ご覧いただきますようお願い申し上げます。

■<http://www.ri2660.gr.jp/?p=1110>

今月は米山月間です。

先週に引き続き、今週も寄付のお願いです。

週報には「米山財団への寄付【年間目標25,000円】に向けての取組をお願いします。」と記載していますが、目標は30,000円で内クラブから上期と下期に各2,500円ずつ自動的に納付されますので【ネットで25,000円の寄付目標】となります。

次週から、財団寄付と同様に達成者数を報告していきたいと思っておりますので、是非積極的にお願いします。

😊 **NIKONIKO箱** 😊

¥19,000.- 累計 ¥343,000.-

- 水間 会員 松本進也ガバナー、上島幹事ようこそいらっしゃいました。当クラブの例会をお楽しみながら、ご指導の程よろしくお申し上げます。
- 山崎 会長 松本ガバナーようこそお越しくださいました。宜しくご指導の程お申し上げます。
- 中村 会員 松本ガバナーのご来訪を歓迎致します。お手柔らかにご指導よろしくお申し致します。
- 津野 会員 松本ガバナー、本日はよろしくお申し致します。有難うございます。
- 佐藤 会員 松本ガバナーのご来訪を歓迎致します。
- 菊井 会員 松本進也ガバナーようこそ当クラブにお越しくださいました。

大阪鶴見RC国際交流基金

¥18,000.- 累計 ¥29,000.-

- 田中 会員 松本ガバナー、上島地区幹事のご来訪を歓迎致します。
- 中嶋 会員 松本ガバナー、上島幹事本日は宜しくお申し致します。
- 秀島 会員 松本進也ガバナーようこそ。例会前の懇談会では興味深いお話を頂きありがとうございました。
- 清水 会員 松本進也ガバナーをお迎えして。

卓話

第2660地区松本進也ガバナー公式訪問



【2016-17年度 第2660地区具体的目標】

2016-17年度の第2660地区における具体的目標を次の5項目と決めました。

1. “The Ideal of service”の基本理念の周知と実践
2. ガバナー月信のペーパーレス化によるITの促進
3. ロータリー財団100周年、ポリオ撲滅
4. 戦略計画の推進
5. IM再編成

1. “The Ideal of service”の基本理念の周知と実践

この基本理念を第2660地区会員全員に周知し、その精神に基づいた地区活動・クラブ活動を推奨いたします。この実践の意味はロータリアンの活動が真に社会に役立つものであり、活動及び成果が継続性を有し、相互的に享受し合えるものである。ということであり

2. ガバナー月信のペーパーレス化によるITの促進

当方年度より、紙媒体によるガバナー月信を停止し、第2660地区のホームページに掲載し、また、メール

配信といたしました。

この移行には三つの利点があります。第一にIT化の促進、第二に地区活動費の充実です。

第三に最大の特色として、今まではクラブ毎に一定数購入し、閲覧や配布をしておりましたが、本年度からはネット環境がある全ての皆様のご都合の良い時に随時ご覧頂けるということが挙げられます。

3. ロータリー財団100周年のお祝い、ポリオ撲滅

今年度はロータリー財団創立100周年の記念すべき年であり、RIは我々へ「100周年のお祝い」を呼び掛けています。お祝いとは所謂お祭りではなく、財団が過去、RIと共に世界で成し遂げた功績を改めて振り返り、財団についての理解・参加・寄付を推進すること。とのことです。よって、補助金を使った事業の立案や例会で財団関係の卓話をして頂くなど、ご検討頂きたいと思っております。

また、RI会長は様々な奉仕活動の中で、特に重要であるのがポリオ撲滅であると評されています。

国際協議会でRI会長によるポリオについての5分程度の講演映像がありますので、ご覧ください。

—— RI会長講演映像「ポリオ」 5分間 ——

人類の悲願であるポリオ撲滅が達成されれば、人類史上撲滅された病としては天然痘に続き、2番目となります。今、善いことをすれば、後世により良い世界を遺すことができます。皆様のご理解をお願いします。

4. ロータリー戦略計画の推進

今年度も引続き、戦略計画を強く推し進めます。戦略計画の三本柱は、

- 1) クラブの活性化とサポート
- 2) 人道的奉仕の重点化と増加
- 3) 公共イメージと認知度の向上 であります。

戦略計画は「親睦」、「高潔性」、「多様性」、「奉仕」、「リーダーシップ」の5つの観点を軸としています。

先程の3本柱にはそれぞれゾーンごとに担当制であり、本年度、当地区からは3人の方が選抜されました。

まず、横山PGはロータリー公共イメージコーディネーターとして公共イメージと認知度の向上を地区、クラブに浸透する役割を担われます。

次に、高島PGはロータリーコーディネーター補佐として、「クラブの活性化とサポート」を、溝畑学友委員長はロータリー財団地域コーディネーター補佐として、第2項目の「人道的奉仕の重点化と増加」につき、活動頂きます。RIは戦略計画の推進を奨励事項としております。当地区も更なる推進を目指します。

5. IM再編成

昨年12月5日の地区大会決議第8号にて「IMの在り方を決議する件」が採決され、2018-19年度の山本G年度を目処に、時代にあったIM再編成やガバナー補

佐の選出方法を実行することとなりました。

当方年度は準備年度としての役割を果たし、片山G年度に継承できるように尽力いたします。

両案は9月24日の地区決議会にて賛成多数により承認されました。

【2016-17年度の年次寄付等年間目標】

当方年度の年次寄付等、年間目標を次のように定めました。

1. 年次寄付	1名あたり \$160	
2. ポリオ撲滅	1名あたり \$60	計\$220
3. ベネファクター	各クラブ1名	
4. 米山奨学金	1名あたり 30,000円	
5. 会員増強	1クラブ純増2名	

まず、年次寄付を1名あたり \$160、ポリオ撲滅に1名あたり、\$60の計\$220とさせていただきます。

これは、ロータリー財団100周年の記念すべき年にあたり、RI会長の通達に「過去最高額の寄付の奨励」があり、また、国際協議会講演でもポリオ撲滅の実現を強調されたからです。

そして、ベネファクターを各クラブ1名 といたしました。

米山奨学委員会では、本年度より「複数世話クラブ制度」を全国に先駆けて実施します。

この画期的な制度の推進の原動力となるべく、米山奨学生の寄付目標を直近3年間同様、一人当たり30,000円といたしました。

最後に会員増強を1クラブ、純増2名といたしました。第2660地区でも会員数の減少が危惧されております。本年度の会員増強はRIが求めている数値は地区全体で3%増であります。よって、本年度第2660地区目標は各クラブ純増2名といたしました。

増強方法の選択肢として、若年層でより経済的負担の掛からない衛星クラブの設立や女性会員の加入がありません。

通常の増強に、このような視点を変えた増強方法も候補に入れて、目標純増2名を達成して頂きたいと存じます。

出席報告		(10月11日1530回)	
会員数	31名	ビジター	0名
(内出席規定免除	10名)	ゲスト	2名
出席会員	20名中 13名	出席総数	24名
出席免除会員	9名中 9名	前々回	9/27 M/U 0名
出席率	22/29 75.86%	修正出席率	80.00%

Rotary



www.rotary.info

ROTARY

121万の
ボランティア会員
世界200カ国

ロータリーソング

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

真実かどうか
みんなに公平か
好意と友情を深めるか
みんなのためになるかどうか

R-O-T-A-R-Y

R-O-T-A-R-Y,
That spells ROTARY,
R-O-T-A-R-Y is known on Land and Sea.
From North to South, from East to West
They profit most, Who serve the Best
R-O-T-A-R-Y,
That spells ROTARY

奉仕の理想

奉仕の理想に集いし友よ
御国に捧げん我等の業
望むは世界の久遠の平和
めぐる歯車いや輝きて
永遠に栄えよ 我等のロータリー

我らの生業

我等の生業さまざまなれど
集いて図る心は一つ
求むるところは平和親睦
力むるところは向上奉仕
おゝロータリアン 我等の集い

限りなき道ロータリー

奉仕の理想 胸に秘め
友情花と咲かせつつ
生きよう今日も ニコニコと
一筋の道 ロータリー
限りなき道 ロータリー

それでこそロータリー

どこで合っても やあと言おうよ
見つけた時にゃ おいと呼ぼうよ
遠い時には 手を振り合おうよ
それでこそ ローローロータリー

町に灯(ともしび)を

出会いの挨拶してごらん
並木さらさら葉から葉へ
人にやさしい町の風
ロータリー ロータリー
廻って 守れ 風車になって
地球がきれいな息をする

われらがロータリー

「聞こえるかい 熱い心の高鳴りが」
夢を世代に受け継いで
今日も明日もその先も
胸いっぱい友情深め
肩組んで 謳おう
われらが ロータリー